

1 現行プログラムにおける取組みの成果

現行の観光・MICE推進プログラム（計画期間：令和5～7年度）に定める3つの柱に基づき施策を実施し、以下の成果が得られた。

柱（1）九州のゲートウェイ都市機能強化

- ・高付加価値旅行者などの新たな顧客層を獲得し、市場の多様化を推進
- ・西のゴールデンルートの取組みなどにより、来訪促進や広域周遊観光を推進

柱（2）MICE都市としてのプレゼンス向上

- ・WFTGAなどの質の高い国際会議の誘致のほか、世界水泳選手権大会などのおもてなしイベントの実施による来訪者の周遊促進
- ・住吉神社能楽殿や博多川の川床などのユニークベニューの新規開拓

柱（3）地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進

- ・無電柱化などの景観整備やイベント開催による地域の魅力向上
- ・ナイトタイムエコノミーの推進
- ・屋台をはじめとした福岡市の食文化が大手メディアで高い評価
- ・宿泊事業者の人材確保や生産性の向上
- ・「おもてなしサポーター」制度を新設し、市民ガイドのすそ野の拡大
- ・宿泊税を活用したDMOによる観光地経営の推進

2 主な継続課題と取り巻く状況の変化や新たな課題

継続して取り
組む
主な課題

- ① 欧米豪からの来訪者数が依然として少ない
- ② 高付加価値旅行者が求める特別感のあるサービス提供が少ない
- ③ 国際会議の開催件数が伸びていないほか、MICEへの伝統文化の活用や市民が関わる機会がまだ少ない
- ④ 都心部の観光客は多いが、郊外の観光客がまだ少ない
- ⑤ 市民・事業者からの屋間に観光客におすすめできる観光が無いとの意見
- ⑥ 他業種と比較し、観光関連産業の生産性や賃金が低い

取り
巻く
状況の
変化や
新たな
課題

- ⑦ 福岡空港ビジネスジェット専用施設の設置により、高付加価値旅行者が求める条件の一つであるスムーズな入国が可能となる
- ⑧ 観光客の増加による観光関連産業全体の人材不足などのキャパシティ不足のほか、従事者の働き続けたいとの気持ちが低い
- ⑨ インバウンド増加により市民が観光客に来てほしいと思う気持ちが低下

3 次期プログラムにおける大枠の方向性

今後もインバウンドの増加が見込まれる中、インバウンドに対する市民満足度の回復・向上と質の高い観光の両立を目指す。また、歴史・文化や屋間における観光の質の向上などを図るとともに、ユニークベニューの開拓などによるシンボリックMICEの誘致に取り組み、観光産業と地域の活性化を図る。このようにして、福岡市の観光・MICEの持続可能な発展を目指す。

それに向け、主な継続課題と取り巻く状況の変化や新たな課題等も踏まえ、3年後を見据えて以下の方針で取組みを進める。

Point I 量から質への更なる転換 | 関連課題①②⑦

- ・西のゴールデンルートを活かした欧米豪旅行者の更なる誘客の推進
- ・高付加価値旅行者への情報発信に加え、きめ細やかな対応ができるガイドの育成やコンテンツ造成、旅行商品を扱う地域DMCの設立支援
- ・福岡空港ビジネスジェット専用施設を活用した高付加価値旅行者の更なる誘致

Point II 国際会議の開催に係る大学への支援など | 関連課題③

- ・国際会議開催に向けた主催者の伴走支援、国際会議の主催者となる大学教員への情報発信、MPFと大学との連携強化
- ・ユニークベニューでの文化財や伝統文化などの活用のほか、ビジネスや市民参加の機会創出

Point III 市民がおすすめできる屋間の観光の充実 | 関連課題④⑤

- ・博多旧市街や福岡城・鴻臚館の受入環境の充実のほか、鴻臚館東門の整備などを見据えたストーリー性のある市内周遊の促進
- ・海辺を活かしたFukuoka East & West Coastプロジェクトなどによる受入環境の充実のほか、アートなどの文化・芸術の更なる活用
- ・商店街への誘客及び受入環境の充実に向けた取組みの支援
- ・食や伝統工芸品、アニメなどのコンテンツの魅力発信や体験機会の創出によるインバウンド誘客促進

Point IV 観光関連産業の賃金上昇に向けた稼ぐ力の向上支援 | 関連課題⑥⑧

- ・ホテルの供給力の向上のためのプロモーションのほか、観光関連産業の魅力の情報発信や賃金上昇に向けた経営者層に対する意識啓発
- ・観光関連産業の人材確保・キャリア形成支援や生産性の更なる向上

Point V 観光客の来訪に対する市民の満足度向上 | 関連課題⑨

- ・インバウンドに対するマナー啓発や混雑緩和
- ・観光による経済効果や観光施策などの情報発信による理解促進